

拡大国際部会（平成20年度第1回国際部会）議事録

日時：平成20年7月8日（火）17：30～20：00

場所：広島県広島市 中国新聞社ビル703会議室

出席者：○印出席、×印欠席

古 関 部 長	○	内 田 理 事	×				
勝 見 部 員	○	小 宮 部 員	×	塚 本 部 員	×	堤 部 員	○
中 野 部 員	×	ハザリカ部員	○	椋 木 部 員	○	渡 部 部 員	○
石川（北海道）	×	渦岡（東北）	×	小宮（関東）	×	中野（中部）	×
豊田（北陸）	×	勝見（関西）	○	西村（中国）	○	岡村（四国）	○
笠間（九州）	○						
桃谷（TC3）	○	ハザリカ(TC4)	○	本城（TC23）	○	古関（TC29）	○
岡（TC34）	×	兵動（TC35）	○	安田（ATC3）	○	田中（ATC8）	○
安田（ATC10）	○	勝見（ATC17）	○			（敬省略）	

議事録：堤

<配布資料>

- 別紙—1：平成19年度第2回国際部会議事録（案）
- 別紙—2：国際部、各支部国際担当窓口、TC,ATC 国内委員会名簿
- 別紙—3：国際活動に関わる規則類
- 別紙—4：平成20年度収支予算書（案）
- 別紙—5：各TCおよびATC 国内委員会の活動状況
- 別紙—6：日本開催ISリスト
- 別紙—7：日米、日中、日韓共催リスト
- 別紙—8：九州支部国際委員会計画、九州支部国際委員会名簿
- 別紙—9：平成20年度中国支部国際委員会収支予算について

<議事>

1. 【報告事項】

- 1) 平成20年4月理事会への報告
 - 報告事項 ①IS-Kyoto2009 実行委員会構成案
- 2) 平成20年5月理事会への報告（6月は休会）
 - 報告事項 ①平成20年度国際部会構成案
 - ②「実務利用を目指すマイクロジオメカニクス」に関するシンポジウム開催計画
（Geomechanics of the Particulate Media (TC35) 国内委員会主催）
開催日：20.11.末の2日間／会場：JGS会館
 - ③Urban Geo-Informatics (ATC10) 国内委員会委員の追加
岩田孝仁 氏（静岡県防災局）、鯨岡秀紀 氏（毎日新聞社）
- 3) 国際会員メーリングリスト送信履歴（2008.3.14-2008.7.1）
 - 3/14 第2回地盤改良に関する日米ワークショップ開催日時が決まりました
 - 4/2 第4回国際洗掘侵食会議—論文提出期限延長のお知らせ
 - 4/3 IS-Tokyo2009 論文概要募集のご案内
 - 4/16 IS-Kyoto2009 論文概要募集のご案内

- 4/18 IS-Gifu2009 論文概要募集のご案内
- 5/9 IS-Tokyo2009 論文概要募集のご案内 (再送)
- 5/21 IS-Tokyo2009 論文概要募集のご案内 (再送)
- 5/30 国際会議 (2009.3.15-19、アメリカ) のお知らせ
- 6/3 ISSMGE Intranet 開設のお知らせ
- 6/12 論文概要提出締切日の延期 (IS-Tokyo2009)
- 6/16 国際会議 (2008.9.22-24、アメリカ) のお知らせ
- 6/17 国際会議 (2008.10.31-11.3、台湾) のお知らせ
- 6/27 ISSMGE News Bulletin March, June 2008 発刊のお知らせ

4) 出席者自己紹介 【別紙－ 2】

5) 国際活動に関わる規則類の紹介 【別紙－ 3】

古関部長より JGS 国際部規程、IS 等実施細則、国際交流基金規程および細則、日米および日中二国間協定が紹介され、今後二国間協定を新たに韓国と結ぶ予定のあることが報告された。

TC、ATC の出席者より、委員会内で企画の持ち上がった国際会議を本部との共催で IS とし開催したい場合の開催方法や予算の組み方などについて確認があった。

IS 等実施細則で定められた ISSMGE ロゴ使用料の原資 (登録料のみか登録料+展示か) と歩合 (原資の 2% か 3% か) について、古関部長とハザリカ部員 (IS-Tokyo 2009 を共催する TC4 の幹事) が確認することとなった。

6) 国際部の今年度予算 【別紙－ 4】

一般会計および国際交流基金について、昨年度の決算報告と今年度予算の説明がなされた。TC、ATC の今年度予算削減についての了承、特別活動費の申請時期 (従来よりも前倒し) と使用目的 (旅費や IS 以外、冊子の出版など) についての確認。TC、ATC の出席者より、国際交流基金は公益法人化に備えて今のところ確保してあるが、今後消化しなければならなくなった場合には TC、ATC の活動費や支部予算への追加などに充てるよう要請があった。

7) 各 TC および ATC 国内委員会の活動状況 【別紙－ 5】、【別紙－ 6】

各 TC および ATC 国内委員会の代表者より活動状況が報告された。別紙に基づいた報告のほか、2009 年開催予定の TC4 の IS-Tokyo と TC23&32 の IS-Gifu の相互協力についての現況報告 (ISSMGE Pinto 会長が両 IS で講演する可能性など) があった。過去三年間と来年実施の IS が古関部長より紹介された。

8) 各支部における国際活動の状況 【別紙－ 8】、【別紙－ 9】

各支部担当者より、国際活動の現況について報告があった。資料に基づいた報告のほか、四国支部ではネパールとのワークショップが予定されていること、関西では IS-Kyoto に協力予定であることなどが報告された。

9) 日米、日中、日韓共催行事について 【別紙－ 7】

古関部長より日米、日中の協定締結と共催行事、日韓共催行事についての報告がなされた。

10) その他

古関部長より JGS ホームページに掲載された国際情報データベースについて紹介があった。

2. 【審議事項】

a. Urban Geo-Informatics (ATC10) への以下の国内委員会委員の追加を承認した。

若林真由美 氏 (基礎地盤コンサルタンツ)、山口 亮 氏 (損害保険料率算定機構)

その他

* 国際部から提出する 7 月理事会の議題 (審議事項、予備審議事項、報告事項) は事務局で準備